



府中市立府中第六中学校

令和7年3月12日 第11号

六中だより

～学校教育目標～
“学力と情操”
“健康と忍耐力”
“勤労と責任”

「覚えざるに」

校長 佐藤 光宏

鎌倉時代初期の禅僧であり、日本における曹洞宗の宗祖である道元禅師が主著の『正法眼蔵』は、多くの日本人やスティーブ・ジョブズなどの外国人らにも大きな影響を与えています。その教えをまとめた『正法眼蔵随聞記』（水野弥穂子訳 ちくま学芸文庫）の中に、「霧の中を行けば覚えざるに衣しめる」という言葉があります。雨が降っていれば、傘をさしたり、蓑を着たりしますが、霧なので濡れることはないだろうと思い、そのまま歩いてしまうと知らないうちに衣はしつとりと濡れてしまっているという意味です。

さらに、道元禅師はこれに続けて、「よき人に近づけば、覚えざるによき人となるなり」と言っています。すなわち、よい人と一緒にいると、知らないうちに自分もよい人になっているということです。

教育には大きく2つの方向性があると思います。1つは教え導くことです。どうすべきなのか、なぜそうしなければならぬのかをきちんと教え、理解を促し、行動につなげていきます。もう1つは感化していくことです。子どもを取り巻く環境を整え、よりよい環境の中で生活するうちに自然と身に付くようにします。

前述した道元禅師は、まさに感化の大切さを教えているように思います。家庭や学校で明るいあいさつが交わされていれば、自然とあいさつができるようになります。靴箱の靴や教室の私物、掲示物などが、いつもきれいに整えられている環境の中で生活すれば、それが当たり前のこととして身に付くとともに、心も落ち着いて整います。

子どもたちを感化していくうえで一番大切な環境は、私たち大人です。私たちの言葉、行動に子どもたちは学び、感化されていきます。

一年間を振り返り、私たち大人が常に我が身を振り返り、学び続けることの大切さを改めて感じているところです。保護者、地域の皆さま、本校の教育活動について、ご理解、ご支援をいただき本当にありがとうございました。令和7年度もよろしくお願いいたします。



新入生児童説明会



2月10日に新入生児童説明会が行われ、市内三校の児童が来校しました。説明会では生徒会役員による学校紹介や校内見学、各部活動の見学を通じて、中学校生活に興味や楽しみを抱いている様子でした。



第2学年校外学習



1月31日(金)に第2学年の校外学習として、都内巡りを実施いたしました。当日は、澄み渡るような青空のもとで大きなトラブルもなく、第2学年の生徒たちが活動できました。

東京駅から30分以内の都内を行動範囲として、班ごとに設定した学習テーマに関する見学地を訪問しました。昨年度の鎌倉校外学習よりも中学生として一段と頼もしい成長を見せてもらえました。3月には、テーマ別発表会を経て選ばれた代表班が学年全員の前で行なう代表発表会を開催しました。



部活動等の実績



女子バスケットボール部

- 府中市中学校バスケットボール1年生大会女子の部 第3位
- 府中市中学校バスケットボール1年生大会女子の部 優秀選手賞 1年女子



男子バスケットボール部

- 府中市中学校バスケットボール1年生大会男子の部 優秀選手賞 1年男子



3月5日に開催された、「令和6年度府中市教育委員会表彰」で、2年3組 Kさんが、有益な調査、研究等の功績で表彰を受けました。

